



西宮市立西宮高等学校 新着図書案内&ニュース

No.1

ホンのひととき

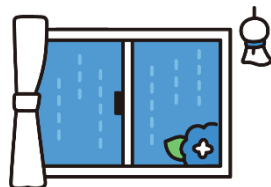


松柏図書館

令和6年6月18日

えっ、まさかのまだ1号!?(´Д`)

2024年も折り返し



77回生のみなさん、今更ですがはじめまして。松柏図書館司書が不定期に発行する図書だより、『ホンのひととき』です。例年は、1~2ヶ月に1号を目標に発行しているので既に2号の発行時期のはずですが、今年はいつもに輪をかけてスロースタートをきってしまった（生徒のみなさんが課題の提出期限に追われる気持ちが分かります）。

さて、1年生は4月のオリエンテーションを経て、図書館の利用にもすっかり慣れてくれたように見られます。授業での利用だけでなく、昼休み、放課後、そして短い10分間の休み時間にも（体育の授業の行き帰りなどに）本を借りにきてくれるように。また、本の購入リクエスト、本の配架場所のリファレンスも、積極的に利用してくれています。1年生の元気な反応に、こちらまでパワーをもらう今日この頃です。この『ホンのひととき』では、図書館の様子をはじめ、図書委員企画の案内、新刊情報などをお知らせしますので、気になる箇所をチェック☆してください。

77回生・78回生のみなさん。高校生活があつという間に1年または2年過ぎたのではないでしょう。2024年もすでに半分が終わろうとしていて、まさに、「歳月人を待たず」です。

ところで、自力で時の流れを遅くすることは可能なのでしょうか。脳科学者によれば、「まわりの世界が見慣れたものになってくると、脳が取り込む情報量は少なく済み、時間が速く過ぎ去っていくように感じる」ようです。つまり、時の流れを遅くするにはその逆で、脳が理解するのに時間を要するような新しい刺激（たとえば、①学び続ける ②新しい場所を訪ねる ③新しい人に会う ④新しいことを始める など）を与えると良いとのこと。限りある高校生活の中で、好奇心が刺激される経験をたくさんしながら心豊かに過ごすことが、1日1日を大切にすることにも繋がっているのです。

ちなみに読書もまた、語彙力や表現力を増やしたり、様々な見解や世界を広げたりと、自分に新しい刺激を与えるのに有効ですよ。今年度も図書館はみなさんをお待ちしています。



77回生☆図書オリ報告記



4月の図書館オリエンテーション期間中の1年生の貸し出し冊数は、計 383 冊でした。平均して、1クラスあたり約 48 冊の本が借りられたことになります。これはなんと、ここ数年のオリエンテーションでの最多冊数です（昨年度は計 246 冊、1クラス約 30 冊）。ただし図書館は、本を読んだり借りたりするだけの場所ではありません。何もしたくないとき、上映中の映画情報を知りたいとき、友だちと待ち合わせしたいとき、突然の雨で傘を借りたいとき、本の森の奥でちょっと一人になりたいとき等、これから図書館が一人でも多くの77回生のお役に立てますように。



☆前期図書委員 活動中☆

5月20日(月)から、お昼休みと放課後に、前期図書委員のカウンター当番がスタートしました。2年目・3年目の委員さんは、最初から慣れた様子で貸出・返却などの手続きにあたってくれて頼もしい限りでしたが、約1ヵ月が経った今では、1年生委員を含めてすべての委員さんがほぼ完璧に仕事を覚えて活躍しています。

“リーダー”というよりは“縁の下の力持ち”のイメージかもしれない図書委員会ですが、毎週1回のカウンター当番がある上に、委員会を開くと学年ごとに1時間以上も熱い話し合いを重ねたりと、実は松柏図書館のメインプレーヤーとしてアクティブな活動をしています。文化祭では、委員全員が『推し本のポスター』を図書館前掲示板にて披露する予定です。クラスの委員の推し本は一体何なのか、そして、『推し』の魅力を伝える個性溢れる表現力にご注目を！

さらに、各学年ごとに独自の図書館企画も推進中です。1年生はビンゴカードを使った読書マラソン、2年生は古本市×館内クイズイベント、3年生は受験サポート本を紹介したニュースレターを発行するとのこと。次号以降のホンのひとときで随時掲載していきますので、楽しみにお待ちください。

2024前期 図書当番表	月	火	水	木	金
昼 休 み ~13:05	2-1 平田 2-3 森部 2-7 榎本	2-2 藤村 2-8 大上 1-2 大月	2-4 田中 2-5 橋本 1-1 清水	3-1 谷川 3-7 泉	3-2 村岡 3-6 山下 1-7 大田
放 課 後 ~15:45 or ~16:45	1-4 中井 1-5 箱田	3-5 久保 3-8 河内	3-3 佐々木 1-8 竹村	3-4 中山 1-3 辻	2-6 竹内 1-6 秋山

2年生(78回生)

図書委員学年企画



自宅に眠る古本を寄付してくれませんか？



2年生図書委員が7月に予定している、館内でのクイズイベントの景品として、現在、図書館前で古本を回収しています。靴箱上に緑のコンテナボックスを置いていますので、自宅に読まなくなってしまった本がある人は、寄付にご協力いただけませんか。

回収対象の本は、もう読まない絵本、いつか読もうと思って買ったままの積読本など、オールジャンルOK☆(※マンガは除く)また、傷んだり日焼けしたりしていても、読める状態のものであればOKです。

7月の館内イベントでクイズに正解した人は、景品として、今回集まった古本の中から好きな一冊を選べる予定です。自分にとってはもう不要な本が、誰か欲しい人のもとで第二の人生を歩めるかもしれないこの『ちょっと素敵な古本回収』。みなさんの自宅に眠るあの本も、ぜひ図書館までお持ちください。



【各クラスにも掲示中の委員制作ポスター】

To be continued on the reverse side.



4月から

新しい本が129冊入りました



女の国会 新川 帆立【著】<913.6>

野党第一党の高月馨は窮地に追い込まれた。敵対関係にありつつも、ある法案については共闘関係にあった与党議員・朝沼侑子が自殺したのだ。

「自分の派閥のトップも説得できていなかったの？ 法案を通すつもり、本当にあったの？」死の前日の浅沼への叱責が彼女を追い詰めたのではないかと批判が集まり、謝罪と国対副委員長の辞任を迫られてしまう。

だが、長年ライバル関係を築いてきた高月には朝沼の死がどうも解せない。

朝沼の婚約者で政界のプリンス・三好顕太郎に直談判し、共に死の真相を調べることに。議員・秘書・記者の覚悟に心震える、政治大逆転ミステリ！



サロメの断頭台 タ木 春央【著】<913.6>

全ての謎が解けるとき、『サロメの断頭台』が読者を待つ。天才芸術家の死、秘密を抱えた舞台女優、盗作事件に贗作事件、そして見立て殺人。大正ミステリを描き抜く『方舟』著者の本格長編。

油絵画家の井口は、元泥棒の蓮野を通訳として連れて、祖父と縁のあったオランダの富豪、ロデウィック氏の元を訪ねた。美術品の収集家でもあるロデウィック氏は翌日、井口のアトリエで彼の絵を見て、「そっくりな作品をアメリカで見た」と気が付いた。未発表の絵を、誰がどうして剽窃したのか？

盗作犯を探すうちに、井口の周りで戯曲『サロメ』に擬えたと思われる連続殺人が発生して――



カラフル 阿部 暁子【著】<913.6>

高校入学式の朝、荒谷伊澄は駅のホームでひったくり犯を捕まえた。

その際に、犯人の前に出て足止めをしようとしたのが、車椅子に乗った少女だった。

その後の事情聴取で判明したのだが、渡辺六花というその少女も、伊澄と同じ高校の新入生だった。弁が立ち気の強い六花に、伊澄はやな女だな、と感じたのだが…？ 夢を追い続けられなくなった少年と少女の挫折と再生の恋物語！



アルプス席の母 早見 和真【著】<913.6>

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。湘南のシニアリーグで活躍する航太郎には関東一円からスカウトが来ていたが、選び取ったのはとある大阪の新興校だった。声のかからなかった甲子園常連校を倒すことを夢見て。息子とともに、菜々子もまた大阪に拠点を移すことを決意する。不慣れな土地での暮らし、厳しい父母会の掟、激瘦せしていく息子。果たしてふたりの夢は叶うのか！？

補欠球児の青春を描いたデビュー作『ひゃくはち』から15年。主人公は選手から母親に変わっても、描かれるのは生きることの屈託と大いなる人生賛歌！ かつて誰も読んだことのない著者渾身の高校野球小説が開幕する。



ChatGPT見るだけノート:知識ゼロから2時間でわかる&使える!



村松 雄太【監修】<007. 1>

いま世界中で話題の対話型 AI チャットボットである「ChatGPT」の基本がわかる一冊が登場。ChatGPT の仕組みや、アカウント登録の方法、遊びや仕事の場面で使えるワザの数々を図解します。知識ゼロからでも使えるようになり、無限の可能性を秘めた ChatGPT を楽しめるようになります。

友だちってなんだろう? :ひとりになる勇気、人とつながる力 齋藤 孝【著】<361>

話し方、距離感、いじめ対策、「個」の磨き方、SNS の使い方。一生使える、無敵の「人間関係術」「友だち関係に対する意識改革のすすめ」。
「気の合う友だちをつくる」力、「気の合わない相手ともうまくつきあう」力、「ひとりを楽しめる」力。
友だちづきあいを無敵にする3つの力を身につける方法を、詳しく紹介。



陸上競技 相洋高校式メニュー (強豪校の練習法) 銭谷 満【著】<782. 3>

高校で一気に力を伸ばし、インターハイで男女とも総合優勝を達成した相洋高校。「リレーの相洋」の異名をとり、2006 年から全国入賞を続ける相洋高校の練習法を紹介する。効率の良い走りにつながる動きづくりと、リレーの極意が満載!
【強豪校の練習法シリーズ続々入荷中! 水泳(日大豊山)、野球(天理)、バドミントン(聖ウルスラ学院英智[男子部])、サッカー(前橋育英)、バレーボール(八王子実践)、卓球(野田学園)・・・etc.】



クリスティを読む! :ミステリの女王の名作入門講座 大矢 博子【著】<930. 2>

数々の名作が世界中で読まれ、翻訳され、映像化・舞台化され、没後 48 年を経ても変わらぬ人気を保ち続ける——まさしくミステリの女王、アガサ・クリスティ。大人気カルチャー講座「アガサ・クリスティを読む」の講師を務める書評家が、〈探偵〉〈舞台と時代〉〈人間関係〉そして〈騙(だま)しのテクニック〉に焦点を当て、各章でテーマに沿ったおすすめ作品を紹介しながら魅力を丁寧に語ります。
最終章〈読者をいかにミスリードするか〉では、女王の驚くべきテクニックをじっくり解説。クリスティのすごさを実感できる、入門に最適な一冊!



◆◆◆ 司書のつぶやき ◆◆◆

図書館で返却される本には、栞代わりに使われたのであろう、色々なものが挟まっている。爪楊枝(未使用だったのが救い)、には驚かされた。でもこれは希少例で、圧倒的に紙モノが多い。生徒証、病院の診察券、コンビニのレシート、映画の半券、綺麗な風景がデザインされたポストカード、どこかの美術館や博物館の入場券、誰か宛てのお手紙。生徒証や診察券などは比較的小返ししやすいが、大事そうなものは、名前が入ってなくても可能な限り貸出し履歴を辿って持ち主にお返しするようにしている。「映画館に連れて行ってもらえたの?」「通院の相棒になったのかな」「コンビニおにぎり食べながら読んだ? 笑」挟まっていたものから、その本がどのようなシチュエーションで読まれたのか想像したり、生活の中でどんな役割を果たしたかを垣間見られたりするのは、この仕事の特権かもしれない。でも、残念ながら持ち主を辿り切れなかった迷子のままの『栞』も沢山あるので、本の返却前には大事なものを挟んだままになっていないか、今一度パラパラ確認するようにしたい。

